

一 遞信省官制中改正、件

一 海務院官制

一 海員審判所職員定員及任用令  
中改正、件

一 明治四十年勅令第二百五十二號帝

國大學、文部省直轄諸學校又ハ

商船學校高等官、官等ニ關ス

ル件 中改正、件

一 奏任文官特別任用令中改正、件

一 海務院及海務局ノ職員ノ特別  
 任用等ニ關スル件  
 一 郵便檢閲官及郵便檢閲官補ノ  
 特別任用ニ關スル件  
 一 實業學校令等ノ特例ニ關スル件  
 右謹テ上奏シ恭シク  
 聖裁ヲ仰キ併セテ樞密院ノ議ニ  
 付セラレムコトヲ請フ  
 昭和十六年十二月六日  
 内閣總理大臣東條英機

勅令第

號

遞信省官制中左ノ通改正ス

第一條第一項ヲ左ノ如ク改ム

遞信大臣ハ郵便及電氣通信並ニ其ノ附帶業務ヲ管理ス

第二條中「書記官八十七人」ヲ「書記官八十四人」ニ改ム

第三條中「管船局」ヲ削ル

第四條 郵務局ニ於テハ郵便ニ關スル事務ヲ掌ル

第四條ノ二第一號中「電信」ヲ「電氣通信」ニ改メ同條第二號ヲ

削リ第三號ヲ第二號トス

第五條 工務局ニ於テハ電氣通信施設ノ建設及保存ノ工事ニ關ス

ル事務ヲ掌ル

第六條ヲ削ル

第六條ノ二筆三號中「官有財産」ヲ「國有財産」ニ、同條第四號中「電信電話用品」ヲ「電氣通信用品」ニ改メ同條ヲ第六條トス

第六條ノ三ヲ第六條ノ二トス

第七條中「事務官專任四十九人」ヲ「事務官專任三十八人」ニ改ム

第八條中「技師七十三人」ヲ「技師四十一人」ニ、「三人」ヲ「一人」ニ改ム

第九條中「屬ハ專任五百四十七人」ヲ「屬ハ專任四百九十一人」ニ改ム

第十條中「技手二百二十二二人」ヲ「技手百八十六人」ニ改ム

第十條ノ三第一項中「電信及電話」ヲ「電氣通信施設」ニ改ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

勅令第

號

海務院官制

第一條 海務院ハ遞信大臣ノ管理ニ屬シ水運、船舶、造船、船員  
其ノ他海事ニ關スル事務ヲ掌ル

第二條 海務院ニ長官官房及左ノ五部ヲ置ク

總務部

運航部

船舶部

船員部

航路部

長官官房ニ於テハ人事、文書及會計ニ關スル事務並ニ他ノ主管

- 二 屬セザル事務ヲ掌ル  
總務部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル  
一 海事ニ關スル綜合計畫ノ設定其ノ他重要海事政策ノ綜合調  
整ニ關スル事項

二 外地海事行政トノ連絡ニ關スル事項

三 水運事業ノ監督及助成ニ關スル事項

四 船舶ノ保護ニ關スル事項

五 海事情報、海事調査及海事思想普及ニ關スル事項

運航部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 船舶ノ管理ニ關スル事項

二 水上運輸ニ關スル事項

三 港灣運送業ノ監督及助成ニ關スル事項

四 運航用資材ニ關スル事項

船舶部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 造船ニ關スル事業ノ監督及助成ニ關スル事項

二 造船及船舶修繕ニ關スル事項

三 船舶ノ積量測度、検査及登録ニ關スル事項

四 船舶用資材、機裝品其ノ他船舶用品ニ關スル事項

船員部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 船員ノ使由ニ關スル事項

二 船員ノ監督及保護ニ關スル事項

三 船員ノ教育及養成ニ關スル事項

四 船員ノ指導及訓練ニ關スル事項

航路部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 港務、水路、水先、航法及海難ニ關スル事項

二 燈臺其ノ他ノ航路標識ニ關スル事項

三 航路標識附屬ノ設備ニ依ル氣象觀測ニ關スル事項

航路部ニ横濱出張所ヲ置キ航路標識田品ノ試験、製造、修繕、

調達及配給ニ關スル事項ヲ掌ラシム

横濱出張所長ハ事務官又ハ技師ヲ以テ之ニ充ツ

第三條 海務院ニ左ノ職員ヲ置ク

長官

勅任

次長

一人

勅任

部長

五人

勅任

書記官

專任九人

奏任

事務官

專任二十三人

奏任

海務官

專任四人

奏任

技師

專任二十二

奏任

内二人ヲ勅任ト爲スコトヲ得

標識技師

專任三人

奏任

屬

專任九十九人

判任

技手

專任四十人

判任

標識技手

專任六百十二人

判任

前項ニ規定スルモノノ外遞信大臣必要ト認ムルトキハ標識技手俸給豫算定額内ニ於テ豫備員トシテ標識技手二十人以内ヲ置クコトヲ得

第四條 前條ノ職員ノ外遞信大臣ノ奏請ニ依リ關係各廳高等官ノ中ヨリ内閣ニ於テ專務官ヲ命ズルコトヲ得

第五條 海務院ニ參與十五人以内ヲ置キ院務ニ參與セシム

參與ハ遞信大臣ノ奏請ニ依リ關係各廳勅任官及學識經驗アル者ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ズ

學識經驗アル者ノ中ヨリ命ゼラレタル參與ノ任期ハ二年トス但シ特別ノ事由アル場合ニ於テハ任期中ヲ解任スルコトヲ妨ゲズ

參與ハ勅任官ノ待遇トス但シ本官ヲ有スル者ニ付テハ本官ノ受クル待遇ニ依ル

第六條 長官ハ遞信大臣ノ指揮監督ヲ承ケ院務ヲ統理シ所屬職員

ヲ指揮監督シ判任官以下ノ進退ヲ專行ス但シ船員ノ教育及養成ニシテ海軍豫備員候補者トシテ必要ナル事項ニ關シテハ海軍大臣ノ指揮監督ヲ承ク

第七條 次長ハ長官ヲ佐ケ院務ヲ掌理ス

第八條 部長ハ上官ノ命ヲ承ケ部務ヲ掌理ス

第九條 書記官及專務官ハ上官ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル

第十條 海務官ハ上官ノ命ヲ承ケ海運、造船又ハ船員ノ教育、養

成若ハ勞務管理ニ關スル事項ヲ掌ル

第十一條 技師ハ上官ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル

第十二條 標識技師ハ上官ノ命ヲ承ケ航路標識ノ保守及運田並ニ

氣象測測ヲ掌ル

第十三條 屬ハ上官ノ指揮ヲ承ケ事務ニ従事ス

第十四條 技手ハ上官ノ指揮ヲ承ケ技術ニ従事ス

第十五條 標識技手ハ上官ノ指揮ヲ承ケ航路標識ノ保守及運用並

ニ氣象測測ニ従事ス

第十六條 航路標識ノ種別、名稱及位置ハ遞信大臣之ヲ定ム

第十七條 第三條第二項ノ標識技手ハ海務院ノ事務ニ臨時従事セ

シムルコトヲ得

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

燈臺局官制ハ之ヲ廢止ス

勅令第 號

海員審判所職員定員及任用令中左ノ通改正ス

第三條第一項中「遞信省高等官」ヲ「海務院高等官」ニ改ム

同條第二項及第三項中「又ハ文部省直轄商船專門學校ノ教授」ヲ

削ル

同條第四項中「遞信屬又ハ遞信局書記」ヲ「海務院屬」ニ改ム

第四條第一項中「遞信局高等官」ヲ「海務局高等官」ニ、  
「遞信

局長」ヲ「勅任タル海務局長」ニ改ム

同條第二項及第三項中「又ハ文部省直轄商船專門學校ノ教授」ヲ

削ル

同條第四項中「遞信局書記」ヲ「海務局事務官補」ニ改ム

第五條中「、海軍ニ關スル遞信部内ノ高等官又ハ文部省直轄商船  
専門學校ノ教授」ヲ「又ハ海軍ニ關スル遞信部内ノ高等官」ニ改  
ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ第三條第二項及第三項、第四  
條第二項及第三項並ニ第五條ノ改正規定ハ昭和十七年一月一日ヨ  
リ之ヲ施行ス

勅令第

號

明治四十年勅令第二百五十二號中左ノ通改正ス

「又ハ文部省直轄諸學校」ヲ「、文部省直轄諸學校、高等商船學  
校又ハ商船學校」ニ改ム

附 則

本令ハ昭和十七年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

勅令第

號

奏任文官特別任用令中左ノ通改正ス

第一條第二項第三號中「税關港務官」ヲ「海務局港務官」ニ改ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

勅令第

第

海務院海務官、海務局海務官及海務局港務官ハ各其ノ職務ニ必要ナル學識經驗ヲ有スル者ノ中ヨリ高等試験委員ノ銓衡ヲ經テ特ニ之ヲ任用スルコトヲ得

海務局海務官補及海務局港務官補ハ各其ノ職務ニ必要ナル學識經驗ヲ有スル者ノ中ヨリ普通試験委員ノ銓衡ヲ經テ特ニ之ヲ任用スルコトヲ得

第一項ノ規定ニ依リ任用セラルル海務院海務官及海務局海務官ニハ高等官官等俸給令第四條ノ規定ヲ適用セズ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

税関港務官及税関港吏特別任用令ハ之ヲ廢止ス

勅令第

號

郵便檢閱官及郵便檢閱官補ハ各其ノ職務ニ必要ナル學識經驗ヲ有ス  
ル者ノ中ヨリ郵便檢閱官ニ在リテハ高等試験委員、郵便檢閱官補ニ  
在リテハ普通試験委員ノ銓衡ヲ經テ特ニ之ヲ任用スルコトヲ得

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

勅令第  
當分ノ内商船學校及商船專門學校ニ關シテハ實業學校令、專門學校  
令及昭和十六年勅令第九百二十四號中文部大臣ノ職務ハ遞信大臣之  
チ行フ

附 則

本令ハ昭和十七年一月一日ヨリ之ヲ施行ス  
本令ハ本令施行ノ際現ニ存スル公立商船學校ニ付テハ之ヲ適用セズ

一 日本國軍隊ノ「タイ」國領域通過  
 二 關スル日本國「タイ」國間協定承認ノ件  
 一 日本國「タイ」國間同盟條約締結ノ件

右謹テ上奏シ恭シク  
 聖裁ヲ仰キ併セテ樞密院ノ議ニ  
 付セラレムコトヲ請フ

昭和十六年十二月十八日

月